

# 平成27年度 地域公共交通確保維持改善事業 事業評価

## 江田島市公共交通協議会

### 生活交通ネットワーク計画(地域内フィーダー系統)の概要



#### 江田島市の概要

- ・平成16年11月に4町が合併
- ・人口 27,023人(平成22年度国勢調査)
- ・面積 100.74km<sup>2</sup>

#### 協議会の構成員

広島県、江田島市、学識経験者、広島県旅客船協会、江田島バス株、広島県タクシー協会江能支部、利用者又は住民代表者、中国運輸局・広島運輸支局、江田島警察署

#### 概要

江田島市の公共交通は、市民の生活圏が広島市や呉市に及んでいることから、必然的に航路が都市間幹線としての役割を担っている。市内の一部を除く主要拠点間の移動については、路線バスが担っているが、路線一元化前の路線を引き継いでいるため、幹線・枝線のメリハリが不明確で利用者のニーズにマッチしていない部分もある。路線バスを補完する公共交通として、一部の交通空白地域においては、フィーダー系統(予約型乗合タクシー)が導入されているが、マイカーがなければ移動に不便を感じる地域も多く存在し、高齢者等のマイカーを利用できない方を中心に、通院や買物等のための移動手段確保のニーズが高まっている。航路と路線バス、予約型乗合タクシーの連携を図り、棧橋や医療機関、商業施設など市民の移動ニーズに対応した地域の「まとまり」と「つながり」を守る公共交通ネットワークの構築を進めている。

#### 協議会の主な取り組み

- ・江田島市地域公共交通網形成計画の策定
- ・西能美航路の合理化・効率化
- ・バス路線の系統整理とターミナルの機能強化
- ・交通空白不便地域への移動手段確保
- ・棧橋や主要バス停における施設整備 など

#### 協議会における検討

- 協議会の開催状況 4回開催
- ・第3回(11月25日) 沖美南部線夜間便実験運行結果及び事業評価について
  - ・第1回(5月13日) おれんじ号実績報告、江田島市地域公共交通網形成計画の策定について
  - ・書面審議(6月18日)フィーダー系統確保維持計画について
  - ・第2回(9月24日) 江田島市地域公共交通網形成計画の策定について
  - ・第3回(11月26日) 江田島市地域公共交通網形成計画の策定について

# 江田島市公共交通協議会 事業の評価

## 定量的な目標・効果

3系統【 江田島北部線、沖美北部線、沖美南部線 】

(目標) 上下便のいずれかの稼働率が50%(大須朝夕便は25%)と2名以下の割合が全体の9割を超える路線の車両の小型化とする目標を設定することにより、運行の維持及び利用促進につなげていく。

(効果) 当該路線を維持・確保することで、地域内の通院や買物など高齢者の日常生活に必要不可欠な移動手段が確保される。また、棧橋で広島行き航路(フェリー・高速船)との接続により、広島市への移動手段確保及び高齢者の外出機会の創出に繋がる。

## 昨年度の自己評価に対するフォローアップ

・地域要望の反映や持続可能な運行手段の確保については、今年度策定中の「江田島市地域公共交通網形成計画」により、地域との協働により公共交通の確保・維持・改善に取り組む。

## 実施した利用促進策

- ・運行区域に自宅で掲示できる時刻表の全戸配布を行った。また、港へのチラシ設置・掲示及びバス停への掲示を行った。
- ・広報えたじま(H27.7月号)に「おれんじ号」の利用状況と収支状況等を掲載して利用促進の呼びかけを行った。
- ・公共交通を守り・育てるため、公共交通に関する出前講座(3回)を行った。

## 昨年度の運輸局二次評価に対するフォローアップ

・持続可能な交通ネットワークの維持については、今年度策定中の「江田島市地域公共交通網形成計画」により、地域との協働により公共交通の確保・維持・改善に取り組む。

## 地域住民の意見の反映

・沖美南部線について、航路時刻改正に伴い、おれんじ号と高速船又はフェリーとの接続の優先に関し、利用者の意見聞き反映された。

# 江田島市公共交通協議会 事業の評価

## 事業実施の適切性

- ・江田島北部線、沖美北部線、沖美南部線

計画どおり実施されている。運行の基準や運行ダイヤ改正とあわせてチラシ配布や広報紙で利用促進の呼びかけを行い、地元自治会や事業者を中心に利用促進・維持が図られており、地域にとって必要な移動手段として計画どおり実施されている。

## 目標・効果達成状況

(目標) 上下便のいずれかの稼働率が50%(大須朝夕便は25%)

- ・江田島北部線 第3便 (上り) 1.3% (下り) 45.3%であった。
- ・大須朝夕便 第5便 (上り) 15.3% (下り) 20.8%であった。
- ・沖美北部線 第2便 (上り) 37.0% (下り) 46.6%であった。
- ・沖美南部線の全便とその他の便は、目標の50%(25%)を達成している。

(効果) 地域内の通院や買物など特に高齢者の日常生活に必要な移動手段が確保された。また、棧橋で広島行き航路(フェリー・高速船)との接続により、広島市への移動手段確保及び特に高齢者の外出機会の創出に繋がった。

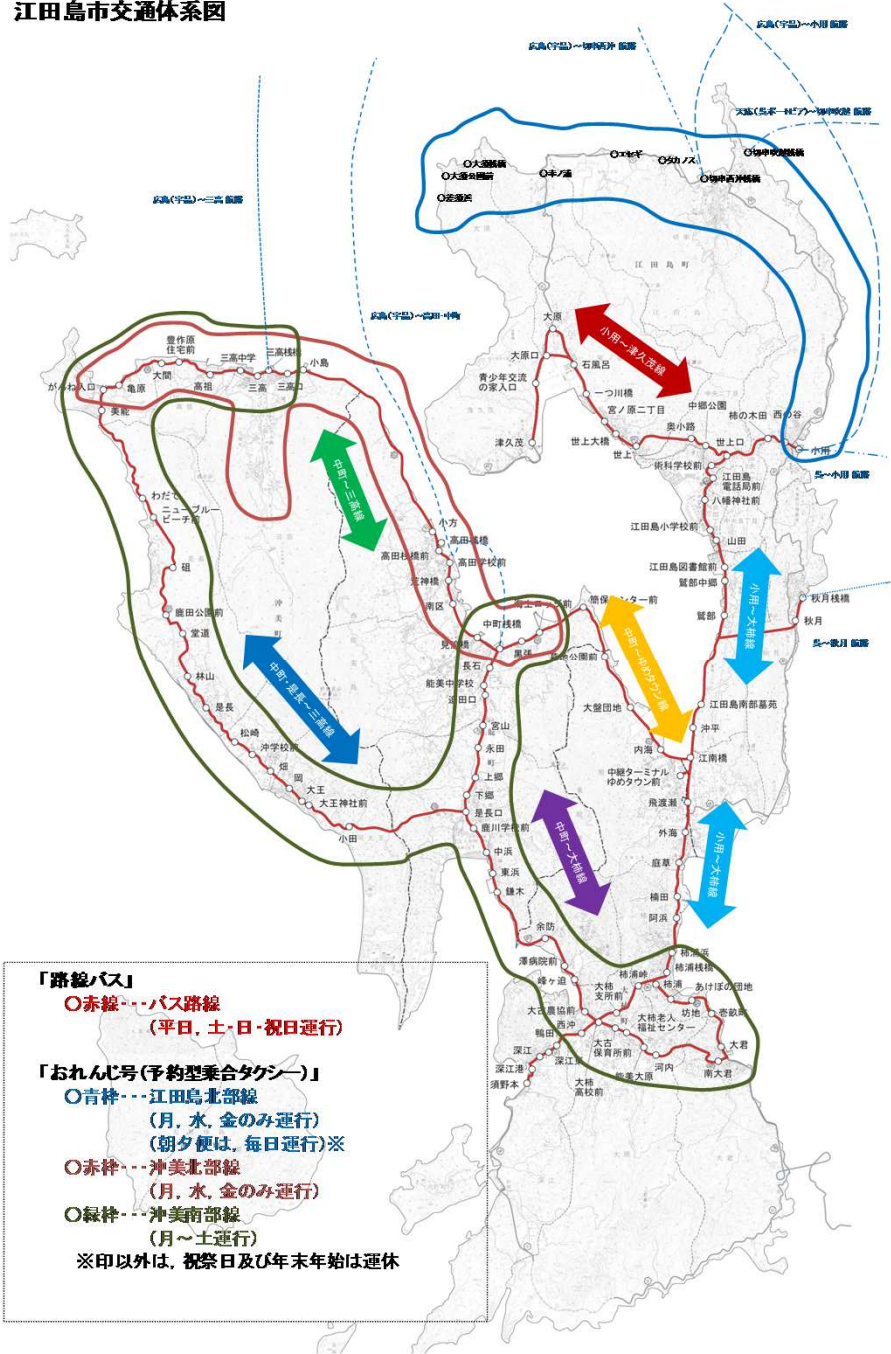
## 事業の今後の改善点

- ・江田島北部線、沖美北部線、沖美南部線

- ・現在設けている運行の基準をもとに適切に運行し、その地域に最適で持続可能な移動手段の確保に努める。
- ・今年度策定中の「江田島市地域公共交通網形成計画」により、まちづくりと連携した効果的・効率的な公共交通体系の構築や地域との協働により公共交通の確保・維持・改善に取り組む。

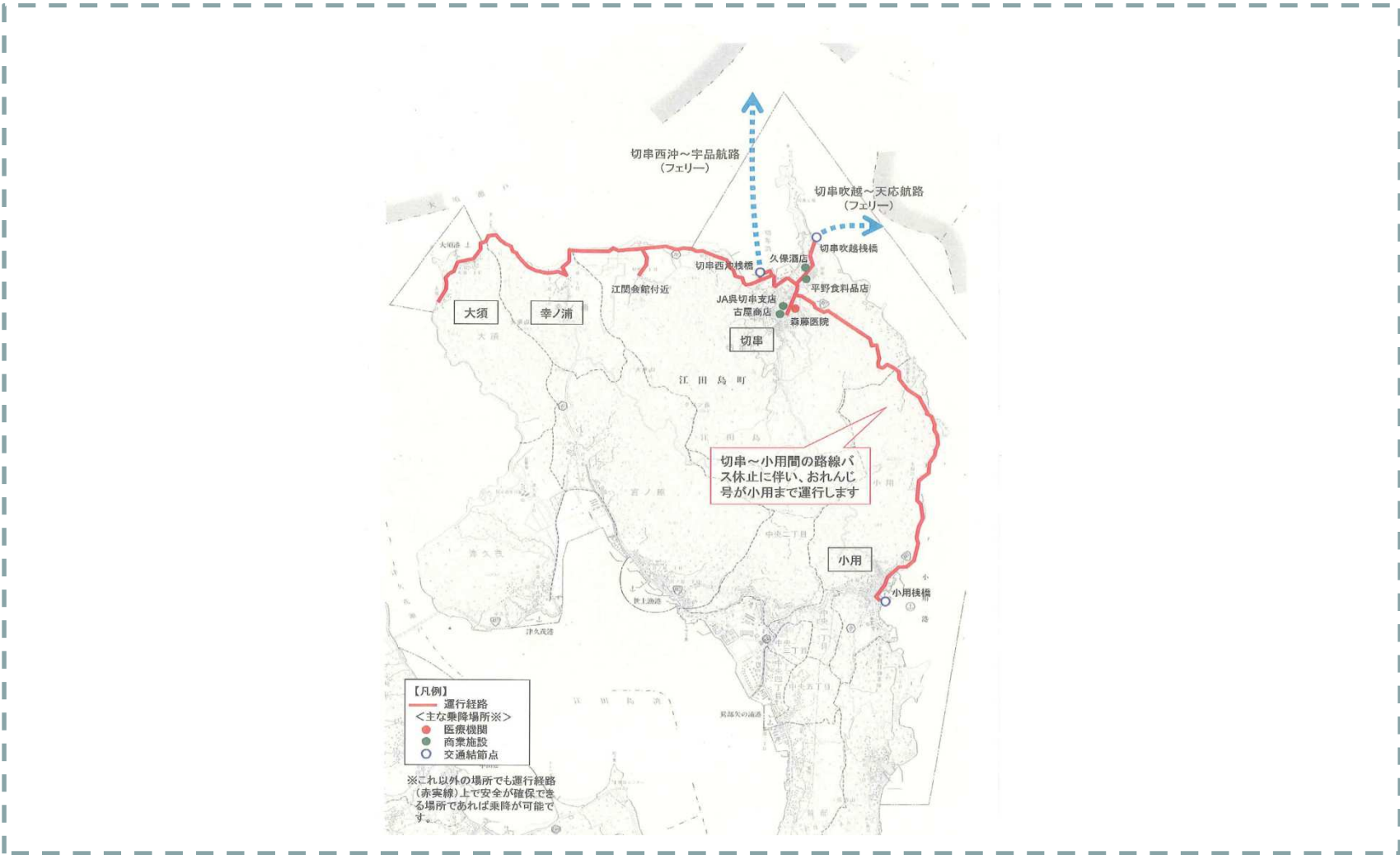
# 交通体系図 別紙

江田島市交通体系図



# 運行系統図 別紙

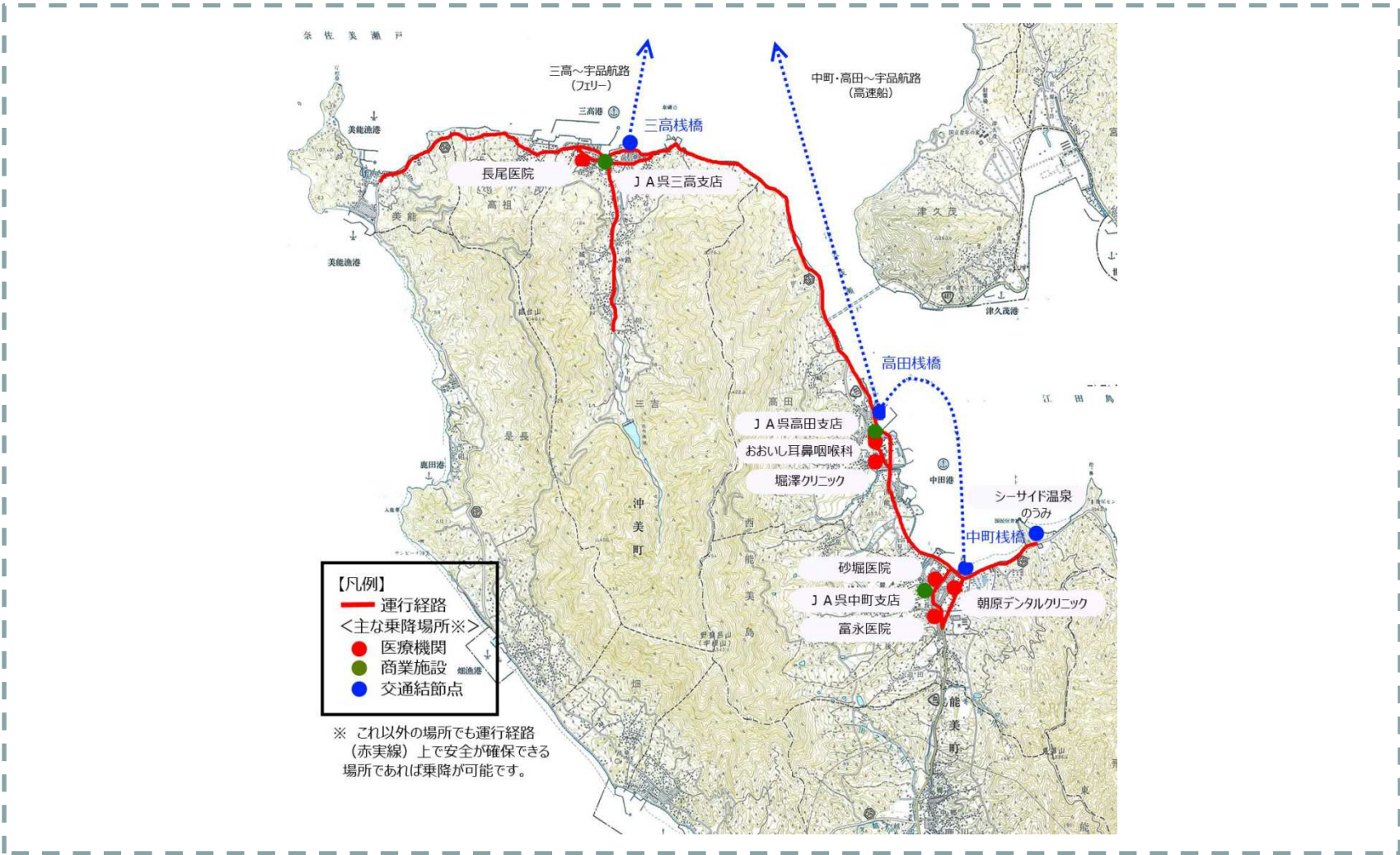
系統名	江田島北部線
運行形態	区域デマンド型
運行日・便数	月・水・金曜日運行(祝祭日・年末年始12/29~1/3は運休)・8便 ※朝夕便は、毎日運行・11便
運賃	1乗車につき300円(小学生以下は半額) ※朝夕便は1乗車につき200円(小学生以下は半額)





# 運行系統図 別紙

系統名	沖美北部線
運行形態	区域デマンド型
運行日・便数	月・水・金曜日運行(祝祭日・年末年始12/29~1/3は運休)・8便
運賃	1乗車につき300円(小学生以下は半額)



# 運行系統図 別紙

**系統名** 沖美南部線  
**運行形態** 区域デマンド型  
**運行日・便数** 月～土曜日(祝祭日・年末年始12/29～1/3は運休)・9便  
**運賃** 1乗車につき300円(大柿町内で乗降する場合は600円、小学生以下は半額)

